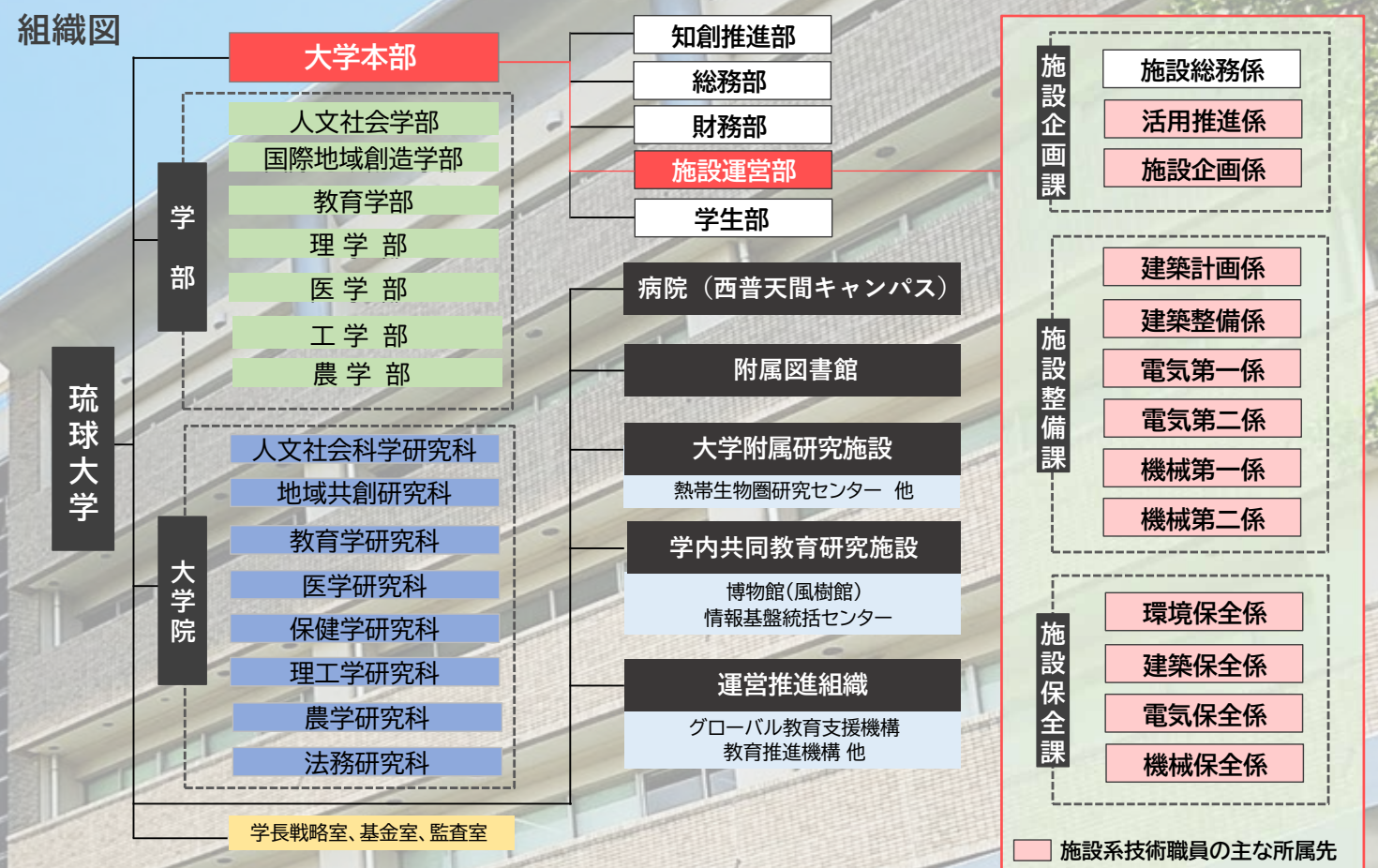


地域とともに豊かな未来
社会をデザインする大学

琉球大学は、多様性に富む特色ある自然環境のもとに多彩な歴史を歩んできた沖縄の地に、「高等教育の場を」という人々の熱意に支えられて創設された総合大学である。その創設以来一貫して、この地域の学術文化の中心として、地域の発展に寄与する学術研究を推進し、地域社会を牽引する多くの人材を育成・輩出することを通じて、地域の発展に貢献してきました。



教育

研究

**地域
連携**

交流が生まれ

にぎわいを感じるキャンパス

大学
運営

**国際
連携**

医療

RYUKYU UNIVERSITY

琉球大学施設運営部
http://www.sisetu.jim.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学へのアクセス

那覇バスターミナルから琉球大学

 モノレール&タクシー

空港 旭橋 儀保 首里 …… 琉球大学

モノレール 約10分 モノレール 約15分 モノレール 約2分 タクシー 約20分

首里駅琉大快速線

94 番線→琉大南口／北口方面

●那覇バス モノレール首里駅から琉大北口まで(平日のみ運行)
経路 首里駅前→汀良三丁目→城東小学校前→石嶺二丁目→
棚原→キリスト教短大入口→琉大附属病院前→
琉大附属小学校→琉大法文学部前(琉大北口行きのみ)→
琉大北口(終点)

空港から琉球大学

 高速バス

※各20～40分に1本程度／所要時間:40～50分
※1時間に1本程度／所要時間:45分

111 番線

●那覇バス
琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社が交互運行

113 123 番線

●琉球バス
経路 空港→沖縄自動車道→琉大入口下車
(琉大入口にて下車、琉大北口まで徒歩約4分)

那覇バスターミナルから琉球大学

 **路線バス**
※各20～40分に1本程度／所要時間:40～50分

97 番線「琉大東口／北口方面」

●那覇バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→儀保(首里)→
琉大附属医院→琉大東口→琉大北口(終点)

98 番線「琉大北口方面」

●琉球バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→パイパス→真栄原→
沖国大前→琉大北口(終点)

沖縄県
【緯度】26度13分 【経度】127度41分

亜熱帯フィールド科学
教育研究センター
(与那フィールド)

熱帯生物圏 —
研究センター
瀬底研究施設

沖縄本島

琉球大学

熱帯生物圏
研究センター
西表研究施設

バスターミナル

モノレール

那覇空港

那覇市

那覇駅

那覇市役所

那覇市博物館

豊見城・名嘉地IC

豊見城IC

南風原IC

南風原北IC

浦添市

西原IC

西原町

与那原町

南城市

八重瀬町

糸満市

北谷町

北平城IC

北平城村

中城PA

中城村

琉球大学 千原キャンパス

琉球大学 上原キャンパス
(医学部・附属病院)

—●— モノレール

—○— 沖縄自動車道

施設系技術職員の仕事について

業務フロー

大学の建物を計画します！整備します！守ります！活用します！



琉球大学キャンパスマスタープラン

打ち合わせ

設計業務

検査業務

図書館

講義室

校舎

附属施設

食堂

病院

施設老朽状況調査

施設利用状況調査

ちがい？

施設系技術職員と研究系技術職員

よく混同されがちな「施設系」技術職員と「研究系」技術職員。同じ技術職員ではありますが、やっている仕事はこうに違います。

施設系
～施設(建物やインフラ)をサポート～
キャンパス施設の「企画」「設計」「工事監理」「維持管理」すべてをマネジメントする事務職の技術職員です

研究系
～教育・研究をサポート～
専門的な知識を活かし、教育・研究活動の現場を技術面からサポートする教育職の技術職員です

施設運営部・各課の紹介

施設企画課

環境・施設マネジメント室

活用推進係

施設総務係

施設企画係

千原キャンパス
本部管理棟(4階)

施設系技術職員の主な所属先

施設企画課の主な仕事

施設運営部の窓口的な部署となります。建物の新築や改修、広場・道路等の屋外環境の整備、電気・給排水等のインフラ設備の整備に関わる企画・立案・予算要求を行っています。

他には工事の入札・契約や大学他部局との調整・報告、文部科学省との連絡・調整、環境活動の企画・立案、既設建物の有効活用等スペースマネジメントや省エネルギーへの取組も行っています。

総務

(1) 工事等の予算及び契約業務
(2) 関連する委員会等業務

企画

(1) 施設整備に関する長期計画の策定(キャンパスマスタープランの作成等)
(2) 施設整備に関する予算要求
(3) 施設整備の事業計画及び実施計画
(4) 国立大学法人等施設実態報告
(5) 施設の災害復旧等に関する業務
(6) その他調査・報告等業務

施設管理

- (1) 施設の点検・評価及び施設利用計画
(2) 施設利用状況調査・統計
(3) 施設整備全般に係る維持管理・保全の計画
(4) スペースの有効活用、施設マネジメント
(5) 環境活動の企画・立案(環境報告書の作成)
(6) 構内交通対策関係

施設整備課

建築計画係

建築整備係

電気第一係

電気第二係

機械第一係

機械第二係

施設保全課

環境保全係

建築保全係

電気保全係

機械保全係

※建築保全係、電気保全係、機械保全係の勤務地は西普天間キャンパス

施設系技術職員の主な所属先

施設整備課及び施設保全課の主な仕事

新築や改修を行う建物の設計や積算、現場監理、検査を行い、完成した建物を使用者に引渡す業務を行っています。設計事務所等との打合せを行ったり、現地の状況を把握するために利用者に対してヒアリングを実施したりします。

また教育・研究活動がより快適で充実したものになるように、大学にある建物やインフラ等の基盤を支える仕事をしています。具体的には、水道・ガス・電気・空調等の建築設備に係るインフラの設計業務、現場監理業務、維持保全業務を行っています。

建築計画係、建築整備係

- (1) 土木・建築・環境等全般に係る工事の設計及び積算
(2) 土木・建築・環境等全般に係る工事の施工監理
(3) 緑地管理・交通対策に係る業務

電気第一係、電気第二係

- (1) 電気設備全般に係る工事の設計及び積算
(2) 電気設備全般に係る工事の施工監理
(3) 電気設備のエネルギー管理

機械第一係、機械第二係

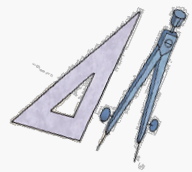
- (1) 機械設備全般に係る工事の設計及び積算
(2) 機械設備全般に係る工事の施工監理
(3) 機械設備のエネルギー管理

環境保全係

- (1) 千原キャンパスの設備全般に係る運転監視業務
(2) 千原キャンパス設備全般に係る保守点検

建築保全係、電気保全係、機械保全係 (西普天間キャンパス勤務)

- (1) 西普天間キャンパス施設等の小修繕等業務
(2) 西普天間キャンパス施設等全般に係る維持保全
(3) 電気設備のエネルギー管理

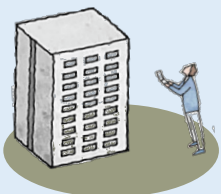


先輩職員紹介



Teruki Iba

伊波 旭樹



●施設整備課所属 建築担当
H27.3 琉球大学工学部環境建設工学科建築コース卒業後
民間企業をへてR4.4月現職に採用

仕事内容

私の所属する施設整備課では、主に建物の新築、改修工事の基本計画から設計、工事監理、完成検査、維持管理など多岐にわたった内容の仕事を日々行っております。それぞれのプロセスにおいてユーザーや業者の方々と調整しながら、より良い施設を築き上げていくことを目指しています。

その他にも施設整備や維持管理に関することで、各施設で不具合があったときの修繕対応、キャンパス内の緑地管理、構内の交通安全対策などといったことも業務内容の一つです。

このように幅広く様々な業務を行っており、多くの方々と接する機会がありますので、色々な経験ができる職場環境となっています。

志望した理由

前職では民間の建設会社に勤めており、主に現場監督として施工管理の業務を行っていました。その中で、前職のときには経験できなかった計画、設計、施工といった一連の流れで建築に携わっていけることに魅力を感じ、琉球大学の施設系技術職員を志望しました。

また、職場環境としてもライフ・ワーク・バランスが充実しており、公私ともに充実できることも大きな魅力の一つです。実際に有給休暇も取得しやすく、プライベートの時間も比較的多く確保できるので、家庭と仕事の両立をしていきたいという方にも働きやすい職場だと思います。

琉大で一緒に働けることを楽しみにしています！



先輩からのメッセージ

私たちの仕事は様々な人と関わり、日々の経験を通して幅広い知識を身につけていくことで、自分の成長へと繋がっていきます。ステップアップとして資格の取得等も推奨していますので、ぜひ皆様と一緒に成長していけることを心待ちにしております。

保有資格

・1級建築施工管理技士
・1級土木施工管理技士補
・二級建築士 ・宅地建物取引士 ほか



☆ 主な1日のスケジュール ☆

- ・9:00～ 出勤、メールチェック、予定確認
- ・10:00～ 現場確認調査
- ・11:00～ 業者や関係部局との打合せ
- ・12:00～ お昼休憩
- ・13:00～ メール及び書類チェック
- ・14:00～ 修繕等対応依頼、現場作業調整
- ・16:00～ 書類、報告書等作成
- ・17:30～ 明日の予定確認段取り
- ・17:45 退勤

時差出勤制度を利用

7:30～9:30の間の30分間隔で始業時間を選択できます。(実働7時間45分)



== ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ == ☆ ==



Yuichi Tamashiro

玉城 佑一



●施設企画課 活用推進担当
H21.3 沖縄職業能力開発大学校 生産機械システム技術科
卒業後、民間企業を経てR2. 4月現職に採用

仕事内容

私の所属する施設企画課では、施設運営部の窓口的な部署であります。主に建物の新築や改修、屋外環境の整備、電気・給排水等のインフラ設備の整備等の企画・立案・予算要求を日々行っております。上記以外にも工事の入札・契約・建物の有効活用等スペースマネジメントも行っており、多岐にわたる分野に携わることができる職場であります。

志望理由

前の職場では、県外の民間会社に勤めており、主に施設管理業務を行っていました。その中で、色々な業務に携わりながら、転勤がほとんどないところに魅力を感じ、琉球大学へ志望しました。



先輩からのメッセージ

仕事で分からないことや、上手くいかないことがあっても、周りに先輩や上司がいつでも相談に乗ってくれます。特にワークバランスを重視した職場なので、仕事とプライベートを両立させたい方には是非チャレンジしてみてください。

保有資格

・第3種電気主任技術者
・エネルギー管理士
・甲種危険物取扱者 ・消防設備士 ほか



キャンパス施設の紹介(施設運営部実施の業務)



最近のプロジェクト (大学校舎の大規模改修)

“共創の拠点”としての再生 工学部校舎のリノベーション



■施設整備の背景

工2号館は築後40年が経過し、仕上げ材や各種設備に著しい劣化が生じている。また、エンジニアリング教育・研究の高度化への対応や、協働スペース創出の為に狭あい化解消等ができておらず、施設機能の陳腐化が見られる。

これらを解消するための機能強化を伴う老朽施設のリノベーションとして、工2号館の改修工事を実施した。

本工事後に計画されている改修工事を通し、地域・社会との連携強化を図り、工学部を「共創の拠点」として再生することを目的とする。

■設計コンセプト

- 内装デザイン
 - ・内装材や仕上げの色、テクスチャなどの選定に関しては工学部の先生の監修のもと行った。室内はモノトーンを基調としたカラーを採用。中庭などのスチール手すりはリン酸処理を施し、黒みを帯びた落ち着いた色味となっている。
 - ・天井内：大部屋をスケルトン天井とし、構造躯体や設備配管等を可視化することにより、建築を学ぶ学生の生きた教材として活用できる。
- サイン
 - UIカラーである「琉大黄金」「琉大ブルー」を採用し、大学のオリジナリティを表現した。また英語併記を行うことで、研究・教育環境の多様化にも対応した。



■県産木材の活用



ラーニングcommonsには県産木材であるリュウキュウマツを使用したベンチを設置した。木材の温かみを感じ、さらに利用者へ県産材使用の活性化をアピールする要素となっている

■基本情報
建物名: 工2号館(Ⅰ期～Ⅲ期)
工 期: 令和3年8月～令和6年3月
構造規模: 鉄筋コンクリート造 5階
建築面積: 2,250㎡ 延床面積: 8,620㎡

施設整備課は、主に建築に係る建物・環境整備を行っています。この建物改修の際には、ヒアリングを行い新たな共創スペースの創出を計画しました。

また、工学部教員と協働し、どのようなデザインにするかを打合せたり、現場での仕上がり具合の確認などを重ねて整備を進めました。基本計画から工事監理、維持管理までのキャンパス施設の一生に携われることがこの仕事の魅力です！

また、私は子育て真っ最中ですが、子供の急病時でも職場の方のサポートもあり助かっています！

●上原桃子 施設整備課 建築整備係長
H17.3 琉球大学理工学研究科卒業後
鹿屋体育大学に採用 H22.4琉球大学に異動



ここが違う!!

国、地方公共団体と違う琉大の魅力!!

●時差出勤制度（7：30～9：30の間で選択可）があります!!

終業後に趣味の時間を確保するため、出勤時間を7:30(前倒し)にしたり、子供の登園・登校時間に合わせて出勤時間を9:30(後ろ倒し)にしたりと自分の生活スタイルに合わせて変更が可能です。

●休日数が多いです!!

有給休暇(20日)や年度中にいつでも取得可能なリフレッシュ休暇(3日間)の他、琉大独自の夏季一斉休業(お盆の時期:3日間)があるため、地方公共団体等よりも休日数が多いです。

●キャンパス内の施設を使用できます!!

附属図書館で資格取得の勉強や体育施設でトレーニングやスポーツをしたり、夏場にはプールを利用してリフレッシュしたりとプライベートを充実させることができます。

●勤務時間と休日

8:30～17:15(休憩12:00～13:00)
実働1日7時間45分です。(時差出勤制度あり)
休日は土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)です。

●休暇・休業制度

有給休暇:1年に20日(翌年への繰り越し可)
その他、リフレッシュ休暇(3日間)、夏季一斉休業(3日間)、忌引き、結婚休暇(5日間)、介護休暇(要介護者1人につき5日、最大10日)、産前・産後休暇、配偶者出産休暇(男性:2日)、男性の育児参加休暇(男性:5日)、子の看護休暇(男女とも:小学生までの子1人につき5日、最大10日)などの特別有給休暇、病気有給休暇などがあります。
休業:育児休業(男女とも:子が3歳になるまで取得可)、介護休業
※所属部署によって一部変動します。

●給料と手当

昇給 年1回
賞与 期末・勤勉手当 年2回(6月・12月)支給
諸手当 通勤方法、住まいや家族の状況、勤務実績に応じて、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当などを支給します。

●福利厚生

文部科学省共済組合加入
健康保険・年金等、雇用保険・労災保険加入
人間ドッグ助成、宿泊・レクリエーション施設利用等の助成
職員宿舍保有(宜野湾市志真志、浦添市前田、那覇市石嶺)
キャンパス内の施設利用可能
(利用可能施設の例)
・体育施設(トレーニングルームもあり)
⇒心身ともにリフレッシュ(バドミントンサークル有)
・図書館⇒本・新聞を読んでリフレッシュ
資格勉強スペースとしても活用
・学食⇒安くておいしい、栄養たっぷり
・農学部農場の野菜販売⇒新鮮でおいしい ※不定期開催、月2～3回程度



キャリアパスの流れ

(20～40代) 課員⇒主任⇒係長
(40代～) 課長代理⇒課長⇒部長



図書館(ラーニング・コモンズ)



体育館(第1)※第2体育館もあり

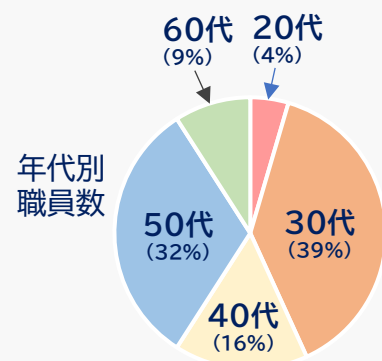


中央食堂(教職員利用可)

施設運営部職員数 ※非常勤・再雇用者含む

男性 34名 女性 10名

(建築12名 電気9名 機械11名 事務12名)

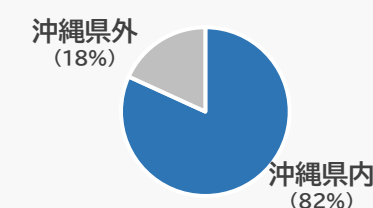


職員の資格保有者数一覧

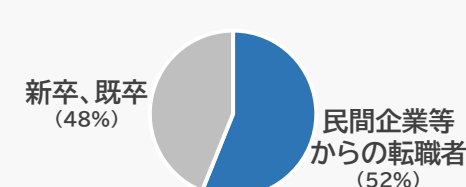
・一級建築士:6名	・第二種電気主任技術者:1名
・二級建築士:5名	・第三種電気主任技術者:5名
・一級管工事施工管理技士:2名	・一級電気工事施工管理技士:3名
・二級管工事施工管理技士:2名	・第一種電気工事士:3名
・消防設備士:5名	・第二種電気工事士:7名
・エネルギー管理士:5名	・二級ボイラー技士:3名

その他 危険物取扱者(乙4類)、高圧ガス取扱主任者 etc.

出身地



採用者の内訳



その他(よくある質問など)

●デスクワーク以外の仕事について

・施設の不具合やトラブルがある場合、現地に駆け付けて問題の調査を行います
・計画や設計を行う際、現地に出向いて調査、施設利用者にヒアリングを行います
・工事中の建物があれば、現地に出向いて施工監理を行います。工事現場に常駐するのではなく、必要に応じて週に1～2回程度現場に行くような感じです

●施設系技術職員が設計業務に従事することはあるか

・少額の工事は自分たちで現地調査や施設利用者にヒアリングを行い設計、図面作成、積算を行います
・大型の入札工事については、設計事務所に業務委託を行います。業務委託をする場合は施設系技術職員が設計の方針を設計事務所に正確に伝えて業務の目的が実現できているか、利用者の意向がきちんと反映された設計ができているかチェックを行います

●施工監理について

・本大学が施工業者に発注した工事が、きちんと設計図通り施工されているか、検査や確認、打合せを行います
○図面に記載された機器や設備が正確に納入されているか(機械や電気工事との調整)
○現場が図面通り施工(配筋・型枠等)されているか(検査・立会・確認等)
○工事が問題なく進捗しているか(工程の管理・確認等)

●採用後の研修について

・入職一年目の職員全員を対象とした琉球大学内の研修(事務系職員など他部署の同期と繋がるきっかけになります！)
・全国の施設系大学職員を対象とした初任者研修や中堅研修、講習会
・九州地区の施設系技術職員を対象とした中堅研修や技術者研修 等

●専門的な知識や経験に自信がないが大丈夫か

・1年目は必ず係長や主任と一緒に仕事をし、設計・積算・施工監理のやり方は上司や先輩が教えてくれます。ご安心ください！

●休日出勤について

・平日にできない工事をする場合等には休日出勤を行うことがあります。その場合、振替休暇制度により休日出勤した日数分、平日に休みを振り替えることになります。頻度についてはその年の工事量によります。

●配属の希望について

・毎年、意向調書により、自らの希望を伝える機会があります。
(配属先については、本人の適性等を考慮し決定されるため、必ずしも希望が通るわけではありません)
・琉球大学内の異動は主に施設運営部内です。
・他機関への異動は本人が希望しない限り基本的にありませんが、関連機関(文部科学省、国立大学、国立高等専門学校)との人事交流を行っています。

